

課題演習について

1 課題演習とは

研修生の皆さんが演習班（小グループ）に分かれ、それぞれのテーマについて、問題点を掘り下げ、具体的な解決策・対応策を検討するものです。「課題演習（発表・講評）」の時間に検討結果を発表して、講師からの講評をいただきます。

2 課題演習のねらい

- (1) テーマとする課題について演習班で討議し、班としての結論をまとめるという作業を通して、現状分析と問題点、課題の抽出、共同作業、役割分担、意見調整、発表（プレゼンテーション）など日常の職務遂行に必要な能力の研鑽を図ること。
- (2) 担当業務の中で共通して抱えている課題について、各団体の状況等に関する情報交換、各自の問題意識や実務経験に基づく意見交換等を行い、課題解決への手がかりをつかむとともに、研修生相互の交流を深めること。

3 課題演習班別テーマ

「課題演習」では、3つのテーマの中から1つテーマを選択し、そのテーマに基づき班別に討議等を進めていただきます。下記、1～3のテーマについて、希望するものにつき別紙「課題演習資料」の該当欄に記入してください。

【テーマ】

- 1 地域産業振興のための産学官金連携に係る支援
- 2 地域産業の担い手となる事業者への支援
- 3 その他、地域産業振興のための支援（具体的内容は課題演習資料に記入）

各課題演習班の討議の対象となる課題演習テーマは、上記3つのいずれかになります。選択者数の多寡により、必ずしもご希望どおりにならないこともありますので、ご承知おきください。その際は、ご連絡差し上げます。

4 課題演習資料の作成

各自課題演習資料を作成し、期限までに提出してください。これがグループ討議の基礎資料になりますので、他の班員が理解しやすいよう具体的な記述に努めてください。

5 演習班、討議の進め方、役割分担等

研修所で班編成を行い、研修当日にお知らせします。